

竹下復興大臣記者会見

「あいあいフェスタ2015（KDDI復興支援マルシェ）」

（平成27年5月22日（金）16：35～16：38 於）KDDI本社ビル）

1. 質疑応答

（問）今日、会場巡られてみて、各地の味を堪能されたと思いますけれども、冒頭の御挨拶の中でもご発言ございましたが、こうやって東京都内で被災地の産地のものをPRするということに対する大臣の思いを伺わせていただければと思います。

（答）ありがたいです。ものすごくありがたいです。やはり人間というのは、どうしても時間がたつと記憶が薄れたり、思いが弱くなったりしますが、節目節目で、例えばここですと、あいあいフェスタをやられる際に、KDDIさんが中心になって、東北を応援するぞという、もう一回思い出させてくれる。こういうのを、実は東京都内にも幾つもの企業の皆さん方が、あるいはグループの皆さん方がやっていただいております、そのことがどうしても薄れがちな記憶というものをもう一回思い起こすという力になりますので、非常にありがたく思っております。参加していらっしゃる皆さん方も、やっぱり都会へ出て、頑張れよと励まされると、よし、頑張ろうという気になって、また帰って頑張れる状況ができてきますので、二重の意味で、こういう催し物というのは非常にありがたいと思っております。

（問）実際に生産者の皆さんとお話しされていましたが、お話しされて、お感じになったことはありますか。

（答）まだまだ、特に水産物の場合ですと、工場は稼働し始めましたけれども、売り先が十分に確保できないとかといった悩みも持っています。お酒についても、お酒がどうかというのがわからないんですけども、福島のお酒はということをする人がやっぱりいて、作っている人は残念な思いをしていらっしゃると思いますので、そういう意味で、そういうものを一つ一つ乗り越えていくためには、こうした試みを一つ一つ積み重ねていく以外に、地道な努力以外にないなと改めて感じています。

(問) 会長にも一言いただいてもよろしいでしょうか。大臣からこういうイベントはありがたいというふうなお言葉もあったと思うんですけども、このようなイベント、KDDIとしては復興庁に職員さんを派遣していたり、いろいろやられていると思うのですが、今後どのような支援をやっていきたいと思えますか。

(KDDI小野寺会長) 我々としても、企業としての支援というのは、これは当然しなければいかんというふうに思っているのですが、我々はもともとICTの産業でございますので、このICTを活かして、地方の被災地の復興だけではなくて、新しい方向で、新しい産業になるようなことをぜひお手伝いできればというふうに思って、当社からも人を出すというのが実情ですね。

(以 上)